

令和元年度 鳥取大学第5回経営協議会 議事要旨

日時 令和2年3月23日(月) 16:10 ~ 17:50
場所 ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間 東
出席者 (学外) 江崎, 熊埜御堂, 平井, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 松田, 藪田, 原田の各委員
陪席者 安延副学長, 山口副学長,
山根地域学部長, 黒沢医学部長, 後藤工学部長, 霜村農学部長

議題に先立ち, 学長より会議出席者に対して, 席上配布資料に基づき, 本学では新型コロナウイルス感染症に対応するため, 「感染症タスク・フォース」を令和2年2月28日に設置したこと, 及び第1回(令和2年3月3日開催)から第4回(令和2年3月18日開催)までの感染症タスク・フォースの審議内容等について紹介があった。

議事要旨の承認

前回(令和2年1月23日開催, 令和元年度第4回)の議事要旨を承認した。

前回質問事項への回答

前回の経営協議会にて学外委員より質問のあった以下の事項について, 資料1に基づいて説明があった。

- ・ 現行の授業料免除制度及び高等教育修学支援新制度における授業料免除者数

議 題

1. 令和2年度鳥取大学年度計画(案)

資料2に基づき, 令和2年度の年度計画(案)について, 教育, 研究, 社会連携・社会貢献・地域を志向した教育研究, グローバル化, 附属病院, 附属学校及び管理・運営に関する本学の特徴的な計画について説明があり, 審議の結果承認した。

2. 新年俸制の導入

資料3に基づき, 国が推進する国立大学法人等における人事給与マネジメント改革において, 教員の年俸制の見直しが図られることとなり, 本学にも新たな年俸制を導入すること及び当該制度の概要等について説明があり, 審

議の結果承認した。

3. 令和2年度鳥取大学予算（案）

資料4に基づき、令和2年度鳥取大学予算案における全学分、大学分、附属病院分及び外部資金関係の収入・支出内訳、対前年度比増減額等の概要について説明があり、審議の結果承認した。

4. 目的積立金の事業計画（案）

資料5に基づき、平成30事業年度決算剰余金による目的積立金のうち附属病院分に係る事業計画案について、附属病院の施設・設備及び医療機器等整備事業に充当し、診療の質の向上を図る計画であるとの説明があり、審議の結果承認した。

報 告

1. 鳥取大学職員給与規程等の一部改正

令和元年人事院勧告への対応方針に基づく、本学職員の給与支給水準の改定について、住居手当については一部不利益変更を含むため、今回は改定を見送ることとして教職員組合と妥結した旨報告があった。

2. 令和2年度運営費交付金予算額の概要

資料6に基づき、文部科学省から示された令和2年度国立大学法人運営費交付金予定額等の概要、算定の考え方、及び重点支援の評価結果に基づく機能強化経費等を含めた本学の運営費交付金予定額等について報告があった。

3. 令和元年度決算スケジュール

資料7に基づき、令和元年度決算スケジュールについて報告があった。

そ の 他

- ◇ 資料8に基づき、最近の地域貢献の取組みについて説明があった。
- ◇ 資料9に基づき、令和2年度の経営協議会開催予定日について説明があり、併せて令和2年度第1回目を6月12日開催予定である旨説明があった。

— 委員からの主な意見 —

- ◇ COC+事業終了後も、県、本学及び県内の高等教育機関が連携してプラットフォームを継続していくことを希望する旨の発言があった。

- ◇ 新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大について、海外との結びつきが強く、新学期の開始により県外からの学生も多数集まる本学に対し注意を呼び掛けるとともに、医学部附属病院をはじめとする本学による協力・支援を求める旨の発言があった。

- ◇ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にかかる本学の令和2年度授業の開始時期及び学内に感染者が発生した場合の対応方法について質問があり、3月24日開催の感染症タスク・フォースにおいて審議予定である旨回答があった。

- ◇ 民間企業においても新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、4月入社式の2週間延期等により、感染拡大リスクを回避する対応をとる企業が多くあるのではないかと情報の提供があった。

- ◇ 新型コロナウイルス感染症への対応について、県内の大学間でも連絡を密に取り合うことを希望する旨の発言があった。